



世界への
プレゼントに
なろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

WEEKLY REPORT

No.2846 2016年5月30日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★点 鐘

卯野福弥会長
 ロータリーソング「奉仕の理想」
 司会 海後宗郷SAA

★出席報告

	岡田 勝委員
会 員 数	30名
出 席 者	16名
欠 席 者	12名
出席免除者	2名
メイクアップ	3名
出 席 率	67.8%

★会長挨拶

卯野福弥会長
 長野方面の旅行に行った時、あるお店で携帯電話などに付けるストラップが何種類か売ってありました。その中の一つに小さな帽子の片隅にぼけの花がちゃんと付いているのを見つけました。何の意味があるのか店員に尋ねたところ、「ぼけ防止」のストラップとのこと。その時思わず笑ってしまいました。私などは、最近とみに物忘れがひどくなっていることに気付かされている毎日です。年をとるとはこのようなことなのかと、しみじみと考えさせられています。

このような話を聞いたことがあります。「ボケないための頭の使い方」は「キョウヨウ」と

「キョウイク」なのだということです。教養と教育かと思いきや、さにあらず。「今日、用がある」と「今日、行くところがある」の二つであるとのこと。この話は『頭の体操』で知られる心理学者の多湖輝（たごあきら）さんの著書『100歳になっても脳を元気に動かす習慣術』の中にあるそうです。100歳と言えば、あの有名な日野原重明さんは今年の10月で105歳です。日野原先生はまだまだ元気に働いています。2015年の日本人の平均寿命は83.7歳ですが、老後をどう生き生きと過ごしていけばよいのか、そろそろ考えなければと思っている今日この頃です。

★幹事報告

遊座文郎幹事

- ① 日本書道ユネスコ登録推進協議会より「日本の書道文化」をユネスコ無形文化遺産に登録するための賛同団体署名のお願いが過日ありました。当ロータリークラブとして「日本の書道文化」を次世代へと保護継承していくことはすばらしいことと考え、賛同の署名を致しましたのでご報告申し上げます。
- ② 既にご案内のように来る6月6日に新旧理事会を午後6時30分より藤屋ホテルにて開催致しますので、よろしくお願ひいたします。
- ③ 本日、この例会後にパスト会長会議を行いますので、よろしくお願ひいたします。

★委員会報告

ニコニコボックス委員会

岡田 勝委員

磯崎久喜雄会員……このたび図らずも春の叙勲で旭日小綬賞の栄を受けました。そこで、5月18日皇居に参内し天皇陛下より拝受いたしました。謹んで御報告申し上げます。なお、祝賀会を7月31日(日)に予定しておりますのでその節はよろしくお願い申し上げます。

★卓 話

「叙位・勲章・褒章について」

磯崎久喜雄会員



[はじめに]

高度経済成長からバブル経済崩壊まで、多少の浮き沈みはありながらも、一貫して右上がり基調だった日本経済が、失われた十年ならぬこの二十数年は一転して沈滞傾向 貧富の差をはじめとするさまざまな差異格差みたいなものが拡大傾向にあるのではないかと多くの人は感じていると思います。

歴史をずっと格差や序列について日本史を勉強してみると古代から近代までどの時代でもすべての人間が序列化されてきた。

振り返ってみれば、現代日本はずいぶんと「平等な社会」を実現している。

我々のおばあちゃんなどの女学校卒業証書には平民〇〇〇〇と記されていましたが、日本の歴史では今ほど平等な社会が実現している時代はない、ということを我々はまず認識すべきだと思っています。

欧州の国々の多くは、色濃く「階級社会」の構造が残っております。先月いつてきたイタリア(500年の金持ち貴族は今でも金持ち貴族) 貴族は名刺を見れば分かる。貴族は名前の前にフォンがつく、アルベルト・フォン・カラヤン、フリードリヒ・フォン・ゴットル・オットリエンフェルト。

歴史上にあらわれる数々の組織の本質、特質をつかむためには、そこにある「序列」がいかなる目的や理論で制度化されているか理解しておくことが日本史研究の基本だと思います。

この日本の位階制度、叙勲制度を理解すると

歴史がスーツと頭に入ってきます。

[日本の位階制度]

●飛鳥時代603年(推古天皇11年) 冠位十二階の制度を定めたのが初めてで

●673年(天武天皇2年) 神社にも位階は功勞に応じて昇進があり位階に対応した官職に就き、勲等(1等から12等)と連動これが位階勲等となった。

●757年 養老律令 30階

正五位上① 下②従五位上③

礼服 色 決まっていた(それぞれ)

五位以上には位田支給

貴族とは五位以上

古代から近世までどの時代でもすべての人間が序列化されてきた。日本の歴史では、今ほど平等な社会が実現している時代になり、ヨーロッパでも貴族制度が残っている。イタリア(500年前の貴族が現存)

問題は昇殿を許されない地下許された殿上人が(10世紀以降およそ5位以上)

天皇が宮中で政務を執る宮中の清涼殿への昇殿を許される。

●大政管制 正一位から少初位まで18階

現在の宮城県大和町吉岡

原作「無私の日本人」

映画「殿、利息でござる」の歴史背景

1742年(寛保2) 仙台伊達藩第6代藩主伊達宗村の次男伊達重村は15才で第7代藩主となるが(似た顔だなと思ったら、今や世界を代表するフィギュアスケート選手の羽生結弦が映画初出演) 薩摩藩主島津重豪(しげひで)への対抗心強く官職で負けないようにより上位の位階を狙い莫大な工作資金を投じていたため藩財政は極度に悪化していた。

代々、仙台伊達藩と薩摩藩は序位官職をめぐってことごとく張り合っていた。

にもかかわらず、江戸御老中はじめ有力者に何万両ものつけ届けを欠かさなかった。

この甲斐あってかどうかわからず、1767年(明和4年)ようやく従四位左近衛、権中將への昇進を果たした。この藩に1000両(現在の金にして3億円)を貸し付け、毎年100両3000万円を利息として宿場町吉岡宿に払ってもらうという実話

この3億を集めるために有志を募り1人500貫文(3000万)10人を集めよう。店を潰してでも浅野屋陣内は町のために、金を出し本当に潰れた。穀田屋十三郎は亡き妻の着物まで売り払い、息子音右衛門とケンカになってしまう。

その昔右衛門は仙台的三浦屋に、10年分の給金を前借りする形で250貫(1500万)もの大金を捻出。その金を父への置き土産にして吉岡を出て行った。吉岡宿の人たちはほとんど皆んな目的のために自分を捨てて結束して5年がかりで1000両(3億円)を集めたが一度は藩に突っぱねられ断られたお上を粘り強く説得した。結果

善意のお金が藩の財政を救い、そのお金が生む利息が明治維新まで毎年支払われ町民を救った。こんな心の通った利息は始めてのこと。

日本の位階制度は聖徳太子の冠位十二階に始まります。

701年の大宝律令で正一位、従一位、正二位…となり、これが現在まで続いています。

757年の養老律令の官位令で三十の階位なったこともあったが、現在は正一位から従八位まで計16の位階に分かれています。(但し死後もらう)例えば、正は現代の検察組織「検事正」警察組織は「警視正」(大きな警察署々長)京の警備に当たる将は将と将補、佐は一佐、二佐、三佐、尉は一尉、二尉、三尉。

〈正一位〉豊臣秀吉、徳川家康、岩倉具視はまさに位人身を極める。生前にもらったのは豊臣秀吉だけで、岩倉具視は生前従一位を死後もらったが、現在この正一位をもらえる見込みの人はいない。

〈従一位〉大久保利通、織田信長、中曽根康弘、徳川慶喜、(織田信長は1575年(天正3年)長篠の戦いで武田勝頼を破って従三位権大納言を与えられる。

(公爵)おこがましいぞ中曽根康弘。歴代総理大臣の中でも偉秀な人(吉田茂、佐藤栄作)は同じ勲章なので死後でるのだろう。

徳川慶喜は慶応二年他の將軍と同じように正二位、大納言征夷大將軍に任命されている。ところが翌年、辞官納地となり、いったんすべての官位をはく奪された。その後だんだんと大政奉還の功績が認められ旧幕臣の不満をなだめる意味もあって、明治五年には従四位が与えられ、明治十三年にはもとの正二位に復帰、さらに明治二十一年従一位まで躍進した。

〈正二位〉徳川(歴代)將軍 大平正芳、児玉源太郎

(侯爵)徳川家は代々、征夷大將軍になると、正二位を与えられる。ただ、その後昇進する場合あり。徳川家康・秀忠・家光は正一位を与えられている。

総理大臣は正か従の二位をもらえるのが普通で、〈従二位〉上杉謙信、北里柴三郎、乃木希典、米内光政

(伯爵)初めて学者登場

〈正三位〉西郷隆盛、山本五十六、柳田国男、塚田十一郎(参議院議員)

(子爵)陸海空の元帥クラス、学者・文化人は飛び抜けた業績でやっともらえる。塚田は参議院議員4期だけでズルい感じ(訳は分からない)

〈正四位〉坂本龍馬、吉田松陰、井伊直弼、①加賀昭夫(秋田大教授)

〈従四位〉吉良上野介、小泉八雲、古賀政男、双葉山、藤原秀郷

平将門の乱を鎮圧した藤原秀郷は従四位に昇任(男爵)

〈正五位〉野口英世、鳥居信二郎(サントリー社長) 民間会社社長はせいぜいこのくらい 野口は珍しく生前にもらっている

〈従五位〉石田三成、岩崎弥太郎、相沢三郎(陸軍中佐) ②村田義純(日本大名誉教授)

中佐クラスはこの位。①は国立②は私立大森鷗外の書いた小説「山椒太夫」があろう。この「太夫」とは、五位の者の唐名で、江戸時代遊郭で最大級の遊びを太夫と呼ばれたのもここからきている。

位がもらいたいなら文化人は不利、ノーベル賞クラスでやっと代議士クラスと並べる教授なら腐っても(業績なくても)四位から五位もらえる。ただし国立は私学より一位は上になる。長嶋茂雄はもしもらおうとすれば巨人の名選手としてではなく、ゲートボール協会の会長としてもらおう、と言うジョークはマジなのだ。結論として言えることは、「よい」位がもらいたければ役人になれ

中納言に権を付けて権中納言=黄門とは中納言の唐での呼び名

権官は正員外の臨時措置だが次第に常設されるようになった 権限はほぼ高らず

大相撲を東西に横綱二人にいる場合 三人目の横綱がいる場合張出横綱というごとく

権大納言は本来の大納言ではないが、大納言と同じ権限と役割をもつ「張り出し大納言」位階が従三位になると官職は中納言となる。

大納言、中納言には定員があり、それ以上のとき「権」がつく。尾張、紀州藩主は大納言が多かったが中納言の藩主もいた。

加賀前田家、伊達家、薩摩島津家、中納言の別称 中国秦・漢に宮門の扉の色が黄色だったことから黄門といわれた。

〈従三位〉じゅさんみ、しょうさんみ、じゅうさんみ

伊達権中納言従三位藤原朝臣正宗公

伊達政宗の正しい呼び方(高貴なお方なので朝臣つける)

1626年(寛永3年)8月19日従三位中納言に昇叙転任

この時点で水戸徳川家(頼房)加賀前田家(利家)薩摩島津家(家久)と官位並ぶ

官位官職姓氏名の順

従三位中納言藤原朝臣伊達政宗

平安時代以降、宮中で例年1月5日五位以上の位階を授ける儀式のことも叙位といった。

1875(明治8)4月10日の詔により位階制を廃し、勲章制度になった。

[日本の勲章]

勲章制度を定める法律はなく、政令(政令とみなされる大政官布告、勅令)と内閣府令(内

閣府令とみなされる大政官達、閣令)に基づいて運用されている。

栄典授与の実質的決定権は日本国憲法に明文の規定はないが、7条7号の天皇の国事行為の一つとして「栄典を授与する」ことの定めてあることを根拠に栄典の一つとして天皇が勲章を授与するとなっている。

現行22種の勲章は

菊花章(大勲位菊花章)

桐花章(桐花大授章)

旭日章(顕著な功績)

瑞宝章(公共的業務で成績を上げた者)

宝冠章(婦人)及び文化勲章に大別される

叙勲候補者 形式的要件70歳以上。

「国家、又は公共に対する功労」内容賞罰歴、賞罰の有無(道路交通法違反、自動車の保管場所の確保等に関する法律違反による罰金刑含む)ズピード違反もダメ。

破産関係も市長町長村長に紹介され、選考資料として1年間かけ調査。

[制度の停止]

昭和21年5月3日皇族、外国人に対する叙勲と文化勲章以外停止。

昭和22年に施行された日本国憲法で「栄誉、勲章、その他の栄典の授与はいかなる特権も使わない(14条3項)また国事行為として天皇が「栄典を授与する」(7条7号)とさだめたことを根拠として制度は再開された。「栄典法」のような法律をつくるべきとの声あり、第1次小泉内閣第1次改造内閣で2003年(平成15年)5月20日閣議決定、勲〇等を改める男子のみだった「旭日章」を男女問わずにし、女子のみだった宝冠章を皇族女子、外国人女性に一般推薦制度の創設。

勲章はOrder

褒章はMedal

【褒章】

褒章は勲章と同じく功績のある人を表彰するものですが、勲章との違いは、勲章はその人の生涯を通じての功績を総合的に判断して授与されるのに対し、褒章は特定の表彰されるべき事績があれば、その都度表彰されることです。

(1) 褒章の種類

褒章は、褒章条例(明治14年 太政官布告第63号)により定められていて、紅綬褒章、緑綬褒章、黄綬褒章、紫綬褒章、藍綬褒章、紺綬褒章があります。それぞれの褒章の授与対象者は次のとおりです。

紅綬褒章 自己の危難を顧みず人命の救助に尽力した者

緑綬褒章 自ら進んで社会に奉仕する活動に従事し徳行顕著である者

黄綬褒章 業務に精励し衆民の模範である者

紫綬褒章 学術、芸術上の発明、改良、創作に関し事績の著しい者

藍綬褒章 公衆の利益を興し成績著明である者
または公同の事務に尽力した者
(公同の事務とは、保護司、民生・児童委員、調停委員等の公共の事務をいう。)

紺綬褒章 公益のため私財を寄附した者

すでに褒章を授与されている者が、さらに同じ褒章を授与される場合には、「飾版」という銀または金の飾りを既に授与されている褒章の綬につけます。

褒章を受章すべき人が死亡した場合には、その道族に褒状または杯を授与することにより、これを追賞しています。

褒章は、平成15年の栄典制度の改革の際に、「褒章については、社会の各分野における優れた事績、行いを顕彰するものとして、年齢にとらわれることなく速やかに顕彰すること」とされ、これにより、紫綬褒章については、オリンピックの金メダリスト等優れた成績を挙げた方が、若くても受章する事例が出てきています。

なお、褒章を授与される者が団体の場合には、褒章に替わり褒状が授与されます。

(2) 褒章の授与方式

紅綬褒章、緑綬褒章、黄綬褒章、紫綬褒章、藍綬褒章については、毎年春秋叙勲と同じ4月29日と11月3日付で授与されます。褒章は、各府省庁の長等から伝達され、受章者は配偶者同伴で天皇陛下の拝謁を賜ります。

紺綬褒章は、表彰されるべき事績が生じた都度授与されます。

遺族追賞についても、その都度授与されます。

平磯海岸(巻頭写真説明)

平磯海岸には、おおむね北へ30～40度傾斜した白亜系那珂湊層群の岩礁が連続して分布している。これは、およそ8,000万年前頃の大陸棚斜面において形成されたタービダイトからなる砂岩泥岩互層が、その後の隆起に伴って緩やかに傾斜し、さらに、礫岩、砂岩、泥岩からなる岩石のうち、軟らかい部分が海食によって選択的に削られて、いわゆる「鬼の洗濯板」状になったものである。

当時の海に生息していたアンモナイト、モサウルス、ウニ、二枚貝、サメなどの化石も発見されており、特に異常巻アンモナイトの群棲地として有名である。このアンモナイトの発見は、茨城県内最初の中生代の地層の発見ともなった。

清浄石以南の海岸330㎡の地域が、茨城県指定天然記念物に指定されている。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」